

## マネージメント情報

### ※ DC305 とミルクキングパーラーのミルクメーターとのリンクについて

私たちが使用している牛群管理ソフトDC305ですが繁殖管理の他にも様々な機能があります。その中の一つにミルクキングパーラーのミルクメーターとのリンク機能がありますので紹介します。

メーカーごとにミルクメーターで搾乳毎に計測される乳量と個々の牛の分娩月日、産次数、授精月日、疾病等の情報を元に動く牛群管理ソフトがオプションであります。操作性や汎用性を考えるとDC305に勝るものは無いと考えています。

DC305とミルクメーターの情報をリンクさせると図-1と表-1のように搾乳毎の情報、例えば個々の牛の搾乳時間(開始～終了)、どのストール(ミルクカー)で搾乳されたか、脱落があった場合の脱落時間(白い部分)とその後の装着の状況等が一目でわかります。

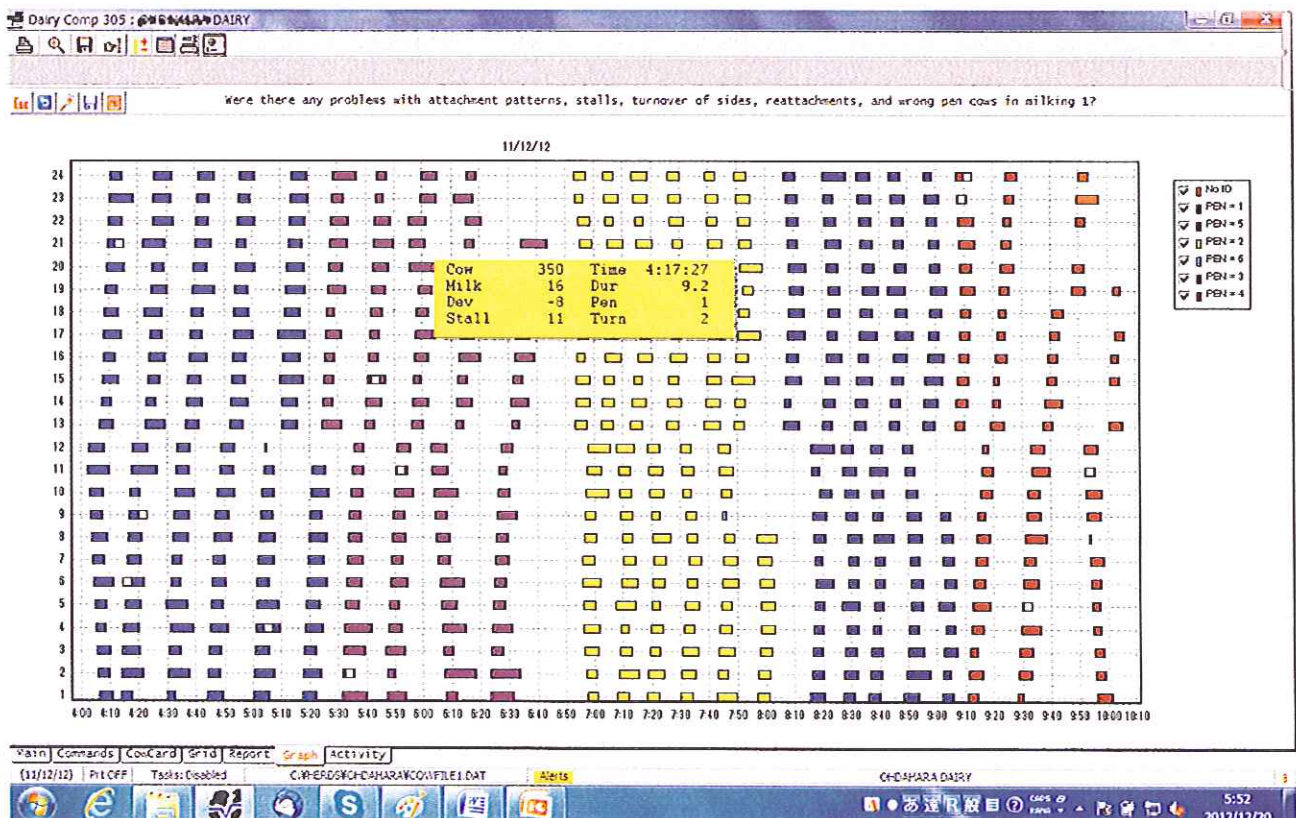
中央にある黄色の部分にはカーソルをその牛(ID350)の今回の搾乳時の乳量、期待乳量との増減、どのストールで(11番)、何時何分開始で搾乳時間が何分間、どの群の牛かという事が表示されています。

この機能を使用されている農場の話では、例えばグラフの横棒の長さで搾乳時間が表示されますが、熟練した搾乳者と新人の搾乳者との技術の差が搾乳時間として一目でわかり搾乳技術の指摘をする時にとっても説得力があり、また毎日の乳量と期待乳量の差がわかることによって疾病の早期発見にもつながるとのことでした。

まだTHMSの顧客のみなさんの中でこの機能を使用されている方はいませんが、現在2軒の方が話を進めているところです。

DC305の販売元のValley Agricultural Softwareの話では殆どのメーカーのミルクメーターとのリンクは可能ということですので、ミルクキングパーラーにミルクメーターが設置されていて興味のある方はお知らせ下さい。

【図-1】



【表-1】

Milking report for 11/12/12 Milking 1 at 01:03 PM

PEN	Total Milk	Milk /Hr	Milk /Cow	Cows	Cows /Hr	Total Time	Start Time	Stop Time	Avg #/m	Avg Dur	Avg Dev	Not ID
1	2204	1574	17	131	93	1:24	4:02	5:26	3.0	5.7	-2	0
5	1728	1312	17	104	79	1:19	5:24	6:43	3.1	5.5	-1	3
2	1969	862	14	141	61	2:17	5:46	8:03	3.0	4.7	-1	-1
3	1632	1605	14	117	115	1:01	8:06	9:07	3.0	4.7	-1	0
4	901	916	12	74	75	0:59	9:06	10:06	2.8	4.3	-1	11
No ID	25	214	12	2	17	0:07	9:49	9:57	2.0	5.6	0	0
Total	8459	1393	15	569	91	6:03	4:02	10:06	3.0	5.0	-1	13

Description	Pen	1	5	2	3	4
% Units were attached	32	36	30	20	37	22
Milk / stall / hour	53	65	54	35	66	37
Cows / stall / hour	3.9	3.8	3.2	2.5	4.7	3.1
Peak Flowrate	5.0	5.0	4.9	4.9	5.1	4.8

Error Summary:	Pen	1	5	4
Reattach	5	1	3	1
Early Falloff	1	1	0	0
Late Rehang	5	2	0	3
Total	11	4	3	4

Side	Cows	Dev	Milk	Time	Flow	Cond	Peak
1	280	-1	14	5.0	3.0	5.0	4
2	287	0	14	5.0	3.0	4.9	5
Average	284	0	14	5.0	3.0	5.0	4

ID Cows in wrong pens list:

325 found in pen 2 not 6 at 7:44 in 9

## ※ OPU-IVF その後

仙台の渥美牛群管理サービスの渥美先生の「牛を仙台に送ってくれたら OPU-IVF で作出された受精卵を別海に送り返しますよ」という提案で THMS 顧客のみなさんの中で OPU-IVF に興味のある方の牛 5 頭が先週別海を出発し無事に仙台に到着しました。

実際に OPU-IVF が始まるのは年明け早々になるとのことですが、今から結果が楽しみです。年甲斐も無くお年玉を貰えるような感覚で期待しています。

今年もあと 11 日、毎年思うことですが年を重ねる毎に本当に一年はあっという間に過ぎてしまいますね。みなさんにとって今年はどうな一年だったでしょうか？

昨年と比べるとさほど大きな事はなかったのでは……

先日の衆議院選挙後の政権交代により TPP の農業分野がどのような扱いになるかによって来年以降の酪農にどのような影響があるのか？ また円安（適正レート？）も進むでしょうから飼料や資材コストは高騰するでしょう。

それでも酪農は日本にとって必要な農業ですし、他産業よりもはるかに恵まれていると思います。どういことがあっても夢をもって前を向いて進んで行きましょう。

今年一年お世話になりました、来年もよろしくお願いたします。

24. 12.20. Y